

I、本園の教育目標

「いつもにこにこ元気な子ども」

- 1、健康でたくましい子どもに
- 2、だれとでも仲よくできる子どもに
- 3、しっかりと約束の守れる子どもに
- 4、あいさつのできる子どもに
- 5、自分で考えて行動のとれる子どもに

★104名中 93名提出
◎回収率 89%

II、自己評価の状況

◎目標を上回る ○目標に達する △目標に届かない

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼稚園の運営について	◎	園全体で園児募集・園児確保に向けて話し合し、協力して取り組んでいる。また、今年度もコロナ禍という中で最善を尽くし、その状況に合わせた運営の工夫ができていた。今後も幼児が主体的にかかわり、安心して遊び込める環境を工夫し提供していく。
2	保育の在り方、幼児への対応	◎	教職員全員が園児一人ひとりの個性や性格、特徴を細かく把握し適切な対応をし、配慮が必要な幼児に対して、教師間で共通理解をし対応することができた。専門的な知識を深めるための研修を受けることができた。引き続き学ぶ機会をつくっていく。
3	保育者としての資質・良識・適性	◎	一人ひとりの子ども・保護者とのかかわりを大切に信頼関係を築くことができた。コロナ禍ではあるが園内研修や研修会に参加し、各自のスキルアップにつなげることができた。
4	保護者への対応・守秘義務	◎	クラスだより、カリキュラム、日々のホームページを通して、子どもの姿や成長を伝えることができた。今年度初めて保育公開を3日間行い、主体的に遊ぶ姿を見て頂くことができた。
5	地域の自然や社会とのかかわり	◎	春の遠足、園外での運動会、高尾山への遠足を実施することができた。
6	保育者の専門性に関する研究・研究への意欲・態度	◎	姉妹園と「主体的な遊び・運動遊び」について勉強会を実施した。
7	保育のあり方 3歳未満児への対応	◎	コロナ感染対策を行いながら、園庭開放の開催や未就園児の方が集まる施設等での説明会に参加することができ、幼稚園という場を提供したり、幼稚園について話したりすることができた。満三歳児クラス・未就園児クラスを設けることで、子どもが早くから集団生活に無理なくなれることができ、友達と一緒に成長し合えることができた。
8	地域における子育て支援	◎	見学者の受け入れを常にしており、経験豊富な教職員が対応し、親切丁寧に説明し、保育をオープンにしていることで、保護者の安心につなげることができた。

IV、保護者評価の状況

結果	項 目	内 容
○	お子様について	「違う学年の担任の先生までが、子どもの名前を覚えて呼んでくれ、親子共々安心している。手厚い保育に感謝している。先生方が子どもたちにとって信頼できる存在であるからこそ、成長できたと思う」等の良いコメントをいただいた。しかし、「相手の話を注意して聞くことができる」「約束やきまりを守ろうとする」の2項目が約6割の達成しかなく、保護者が自分の子どもを客観的に評価しているが、教員も指導に心配りしていかなければと反省した。
◎	園の運営について	「コロナ対策が万全で、クラスターもなく安心して幼稚園生活を送ることができたことに感謝している」「コロナ禍でも、様々な工夫をしながら、子どもたちが楽しめるように行事や日常の保育をしてくれていると感じ感謝している」等のコメントをいただけた。引き続き、その時々状況に合わせて考えていこうと思う。
◎	家庭との連携について	「親身になって接して下さり、また相談にも乗って下さり安心して送り出すことができた」「面談の時だけではなく、その都度子どもの様子を教えていただけ、細かい所まで見て下さって感謝しています」等のコメントをいただけた。今後も家庭と一帯になって、子どもを育てていかれるようにしていこうと思う。

V、総合的な評価結果

評価	理 由
A	・一人ひとりの保護者との関わりを大切に、子どもの頑張った姿、できるようになった姿を伝えることを意識して行い、信頼関係を築き安心して子どもを預けていただくことができた。どの子どもにも愛情をもって、個人に合わせた指導、援助をしてきたことで、「いつもにこにこ元気な子ども」の教育目標が達成でき、保護者から聖徳教育でよかったと評価された。

A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった

VI、今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	・多様化したニーズへの対応	・各家庭の事情に合わせた、幼稚園で出来る範囲での対応を考え保護者に寄り添い援助・配慮・支援を行っていく
2	・地域における子育て支援 (昨年度はコロナ禍により実施できず、次年度も継続する)	・園庭開放等でも地域の方の子育ての悩みや相談等を話せるような場の提供や、コロナ禍で専門学校や大学の先生方に来ていただくことは難しい為、リモート等で専門的な話が聞ける機会を設けられたら良いと考える。

VII、学校関係者評価委員の評価・・・・・・評価委員 5 名より、全項目において「A」の評価をいただいた。

コメント

- ・全ての教職員の方が園児の性格や成長過程を把握して指導している。コロナ禍でも感染対策を徹底しながら園児は季節を感じ、イベントを楽しんでいるようだった。安心して通わせられる幼稚園だと長年感じていた
- ・今年度も子ども達を第一に思って、保育されていることがよく伝わってきた。保護者にも安心して頂けるよう努力していたことがわかり、信頼関係も築くことができたと思う。
- ・教職員の皆様の園児に対する温かなまなざしに感謝している。子ども達の表情から、子どもを託す保護者の雰囲気から聖徳八王子の幼児教育がとても善いものであると感じる。
- ・今後の改善の一つの意見として、情報発信・支援の必要な園児ケア・HP の見直しと更新・働き改革・行事内での教育的コメント等、様々な方面から考え取り組んでほしい。